

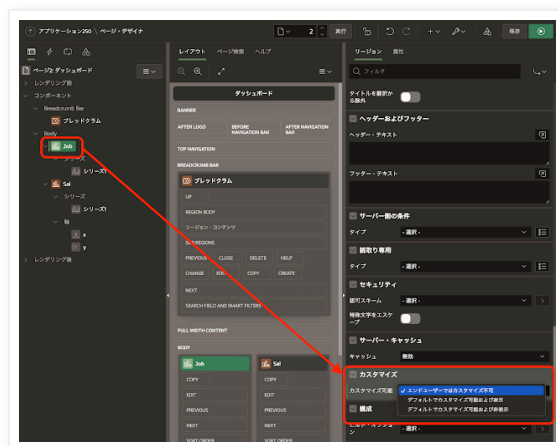
日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

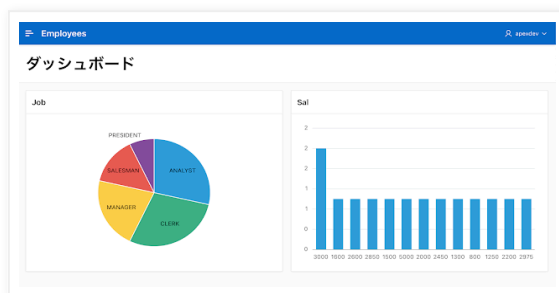
2023年8月18日 金曜日

リージョンのカスタマイズ可能の設定について

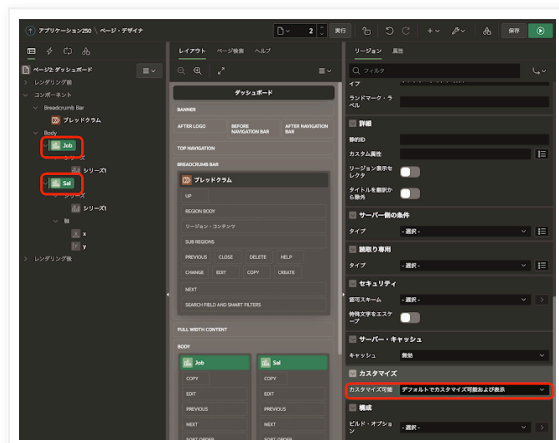
リージョンの属性にカスタマイズ可能というものがあります。エンドユーザーではカスタマイズ不可、デフォルトでカスタマイズ可能および表示、デフォルトでカスタマイズ可能および非表示のどれかを選ぶことができます。



以下のように、チャートのリージョンが2つあるページがあります。

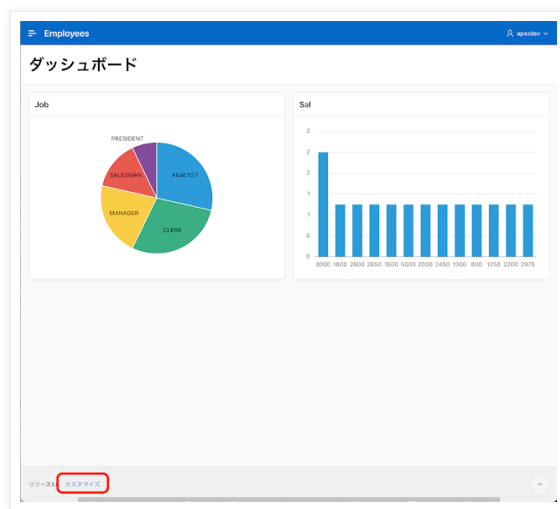


ページ・デザイナを開き、リージョンJobとSalを選択します。カスタマイズのカスタマイズ可能にデフォルトでカスタマイズ可能および表示を選択します。



変更を保存し、ページを実行するとフッターに**カスタマイズ**というリンクが表示されます。

カスタマイズ可能にデフォルトで**カスタマイズ可能**および**非表示**を選んだ場合は、リージョンは初期状態で**非表示**になります。



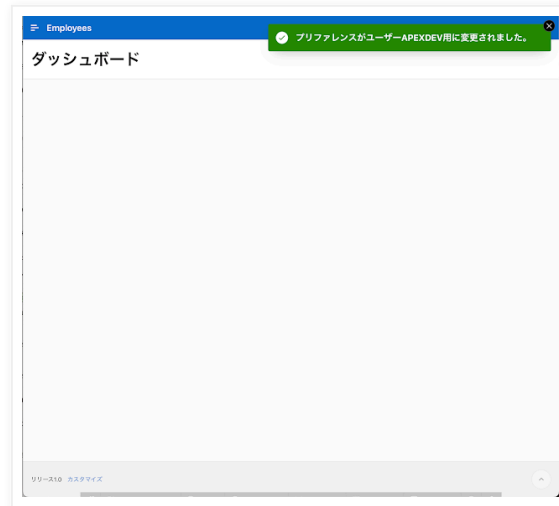
カスタマイズをクリックすると、**リージョン表示**のカスタマイズを行うダイアログが表示されます。現在表示されているリージョン、**Sal**と**Job**はハイライト表示されています。

The screenshot shows a dialog box titled 'カスタマイズ' (Customize). Inside, there is a section 'リージョン表示' (Region Display) with a description: 'このページに含めるリージョンを選択してください。選択したリージョンは、適切なアプリケーション・コンテキストでない場合または適切な権限がない場合、表示されないことがあります。' (Please select the regions to include on this page. Selected regions may not be displayed if they are not in the appropriate application context or if the user does not have the appropriate permissions). Below the text are two input fields, 'Job' and 'Sal', both of which are highlighted with a grey background. At the bottom right, there is a button labeled '変更の適用' (Apply Changes).

Jobと**Sal**をクリックします（ハイライトされなくなります）。表示の対象外にして、**変更の適用**をクリックします。

This screenshot shows the same 'カスタマイズ' (Customize) dialog box. In this state, the 'Job' and 'Sal' input fields are no longer highlighted. A red box highlights the '変更の適用' (Apply Changes) button at the bottom right, indicating the next step in the process.

プリファレンスがユーザー〇〇用に変更されました。と表示され、リージョンが**非表示**になりました。サーバーでの処理なので、HTML自体が生成されていません。

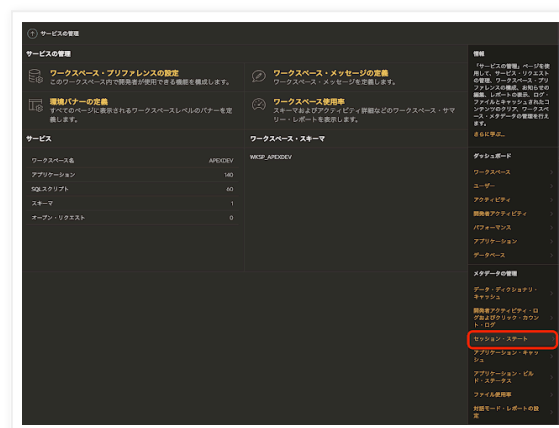


ユーザーによってリージョンの表示（リージョンの生成）をカスタマイズできるようになりました。

リージョンの表示/非表示を行う条件は、ユーザーのプリファレンスとして保存されています。プリファレンスの確認は、**管理のサービスの管理**から行います。



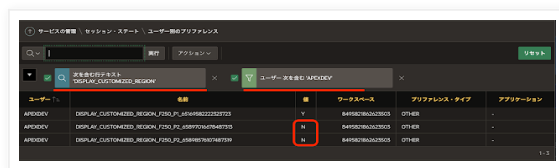
画面右のメタデータの管理より、**セッション・ステート**を開きます。



プリファレンスの管理の**ユーザー別のプリファレンス**を開きます。



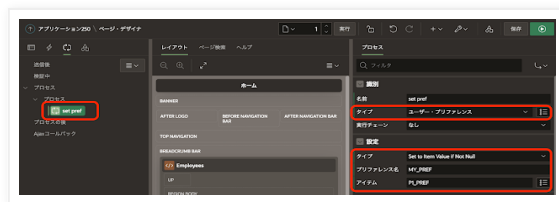
特定のユーザーに限定するようフィルタを設定します。次にDISPLAY_CUSTOMIZED_REGIONを名前に含むプリファレンスを選択します。



以下の形式の名前で、リージョンの表示/非表示を決めるプリファレンスが作られていることが確認できます。

DISPLAY_CUSTOMIZED_REGION_F<APP_ID>_P<PAGE_ID>_<REGION_ID>

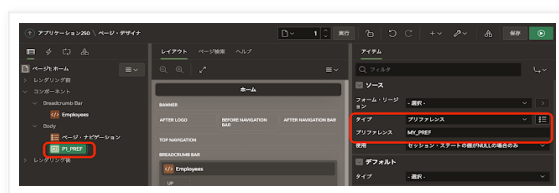
プリファレンスは、**タイプ**が**ユーザー・プリファレンス**のプロセスによって設定することができます。**設定のタイプ**は**Set to Item Value**または**Set to Item Value If Not Null**です。



プリファレンスの削除には、**設定のタイプ**として**Reset Preferences (remove all preferences for current user)**を選ぶことができます。



プリファレンスを参照するには、**ページ・アイテムのソースのタイプ**として**プリファレンス**を選択し、**プリファレンス**に**プリファレンス名**を設定します。



プリファレンスは、[APEX_UTIL.GET_PREFERENCE](#)、[APEX_UTIL.SET_PREFERENCE](#)、[APEX_UTIL.REMOVE_PREFERENCE](#)などのAPIより操作することもできます。

例えば以下のようにSET_PREFERENCEを呼び出すことにより、ユーザーがAPEXDEV、アプリケーションIDが250、ページIDが2のページにあるリージョンIDが65898576107487319のリージョンを非表示に変えることができます。

```
begin
  apex_util.set_preference(
    p_preference => 'DISPLAY_CUSTOMIZED_REGION_F250_P2_65898576107487319'
    ,p_value => 'N'
```

```
,p_user => 'APEXDEV')
end;
```

APEXビューから参照する場合は、**APEX_WORKSPACE_PREFERENCES**を検索します。

```
select preference_name, preference_value from apex_workspace_preferences
where user_name = 'APEXDEV' and preference_name like 'DISPLAY_CUSTOMIZED_REGION%'
```



リージョンの表示/非表示を制御するプリファレンスが作成済みの場合、**カスタマイズ可能**をデフォルトで**カスタマイズ可能**および**表示**やデフォルトで**カスタマイズ可能**および**非表示**に変更しても、リージョンの表示/非表示に影響を与えません。すでに保存されているプリファレンスの値が参照されるためです。

リージョンのカスタマイズ可能についての紹介は以上になります。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 19:16

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.